

宮崎県 (所在地: 宮崎県)

事業名

みやざきの共生社会を目指す生涯学習推進事業

事業の趣旨・目的

障がいの有無に関わらず、「誰もが、共に学び、生きる共生社会」の実現に向けて、以下のことに取り組む。

- ・各地区の今後の取組を協議するための「コンソーシアムの形成」
- ・公民館等の学習プログラムや大学公開講座、取組推進校での「実践研究」
- ・コンファレンスの実施や特別番組の放送等による「普及啓発・情報提供」

事業内容

【コンソーシアムの形成】

- コンソーシアム連携協議会の開催 (7月、8月、10月、1月、2月)
- 市町村公民館等担当者会の開催 (10月)

【実践研究】

- 公民館や社会教育施設等での生涯学習プログラムの実施
 - ・ 障害当事者が企画に参画し、民間団体等と協働した取組の実施
- 大学の専門性を生かした公開講座の実施
 - ・ 学生と障害当事者が協働し企画した公開講座の実施
- 学校卒業後の生涯学習への意欲向上を図る取組
 - ・ 県内特別支援学校取組推進校における授業や講座体験の実施
- 市町村公民館や県社会教育施設等の講座イベントに関する調査

【普及啓発・情報提供】

- 一般県民も対象とした「ひなたのつどい(共生コンファレンス)」の開催
- 民間放送局による特別番組・啓発CMの制作放送

【読書バリアフリー法に関連する取組】

- 図書館職員や学校職員、読書ボランティアのスキルアップ研修の実施
- みやざき読書アンバサダーによる読み聞かせと歌のコンサート

事業実施体制・連携先

【コンソーシアム連携協議会構成員】

大学、専修学校、特別支援学校、PTA、社会福祉協議会、自立支援協議会、企業、当事者団体、家族団体、支援団体、市町村教委、県障がい福祉課

【コンソーシアム連携協議会の特色】

今後の事業展開を見据え、県内を3地区に分けて地区別に協議を実施

事業終了後の目指す方向性

【コンソーシアム形成】

- 市町村教育委員会が自走して障害者の生涯学習推進事業に取り組む。

【実践研究】

- 障害者向けの生涯学習プログラムが、各市町村において実施される。
- 公民館講座のモデルが周知され、講座づくりに生かされている。
- 支援団体等が協働し、社会教育施設等に障害者の学びの場が創出される。

【普及啓発・情報提供】

- 卒業後の学びの場を知ることで、参加する障害当事者が増加する。

【読書バリアフリー法に関連する取組】

- 人材育成の研修等により、点字図書やテキスト図書などの利用促進が図られ、点字絵本やテキスト図書の提供を支えるボランティアの増加につながる。
- コンサートの実施により読書バリアフリーについて理解が深まり、障害当事者が読書に親しむ機会が増加する。

その他広報など

宮崎県教育庁生涯学習課HP「みやざき学び応援ネット」

みやざき学び応援ネット

新生涯学習総合情報提供システム

<https://www.sun.pref.miyazaki.lg.jp>



みやざき
共生社会のまなび



連携協議会の様子



「書」で楽しむ講座の様子



障害者週間に放送する特別番組